

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10020020

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・各施設遊具修繕: 72基 ・沢木交通公園土留柵修繕
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	3 公園・緑地の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	公園等施設遊具修繕事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	修繕遊具数		#N/A	
事業目標	25基	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	・各施設遊具修繕～25基 ・沢木交通公園土留柵修繕	・各施設遊具修繕 ・沢木交通公園土留柵修繕 L=30m H=1.5m L型擁壁	・各施設遊具修繕	・各施設遊具修繕	・各施設遊具修繕	・各施設遊具修繕
	事業費(千円)	6,400	3,600	700	700	700
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	6,400	3,600	700	700	700	
実績 事業費	事業費(千円)	3,532	3,532	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	3,532	3,532				
関連 事項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			・各施設遊具修繕 6基 ・沢木交通公園土留柵修繕 L=30m H=1.5m L型擁壁			
			※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	5基	5基	5基	5基
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	98%	0%	0%	0%
	全体達成率	55%	55%	55%	55%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	公園等施設遊具修繕事業	評価者 管理職 職氏名	課長	渡邊孝司
		評価者 作成者 職氏名	係長	永井栄次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公園等の利用者、施設遊具。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修繕遊具数
【抱える課題やニーズは】	遊具利用者の事故。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公園等の利用者が安全に利用できる公園施設を目指す。	① 修繕遊具数/修繕遊具数の実績	目標年度 実績年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公園等の施設遊具への安全対策。		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施。	(社)日本公園施設業協会認定業者の見積合わせにより、工事を発注し公園遊具の修繕を実施した。	目標年度 実績年度
			達成度

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公園等の利用者に安心して利用してもらうためには、遊具の修繕等は欠くことのできないものであり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全な利用が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成 ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	遊具施設の修繕等、維持管理を行っていくことにより、安全性を確保し、かつ施設の延命を図っていくことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	誰もが安全に利用できるよう遊具の修繕を行ったことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく利用してもらうためには、遊具の修繕は必要不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
公園等の利用者が安全で楽しく利用してもらうためには、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止